

松本忠司名誉教授略歴

- 1929年3月28日 秋田県鹿角郡小坂町渡ノ羽4番地に生まれる
- 1947年3月 秋田県立秋田工業学校電気科卒業
- 4月 同和鉱業株式会社小坂鉱業所発電課に入社，銚子滝発電所に勤務
- 9月 秋田県内の営林署管轄工事場に働く
- 1948年5月 上京
- 6月 日本クッカー株式会社入社（電工）
- 1949年4月 東京都特別調達庁営繕事務所入所（電工，1953年2月末まで）
- 1950年3月 私立東京第一高等学校定時制課程卒業
- 1954年3月 早稲田大学第二文学部露文専修卒業
- 1956年1月 新協劇団附属研究所講師（戯曲論担当，1957年3月まで）
- 4月 中央労働学院附設ロシア語教室講師（1956年12月まで）
- 1957年3月 早稲田大学大学院文学研究科露文学専攻修士課程修了
- 4月1日 小樽商科大学講師採用
- 1964年8月16日 同助教授昇任
- 1968年10月1日 同教授昇任
- 1972年12月27日 同短期大学部主事併任（併任の期間は1974年12月26日まで）
- 1982年7月1日 同附属図書館長併任（併任の期間は1992年3月31日まで）
- 1983年3月1日 小樽商科大学長事務取扱任命（期間は同年3月31日まで）
- 1991年10月1日 小樽商科大学教授言語センターに配置換
- 1992年3月31日 定年により退職
- 4月 小樽商科大学名誉教授の称号授与

松本忠司名誉教授研究業績表

〔I〕 著書

- | | | |
|--|----------|---------------|
| 1. ゴーリキイ研究(1) 作家への道 | 1968年 3月 | 小樽商科大学人文科学研究会 |
| 1. ゴーリキイ研究(1) 作家への道 | 1968年 9月 | 理想社 |
| 2. ロシア文学の世界 (草鹿外吉・村井隆之・大木昭男と共著)
(全16章のうち、「シチェドリン」,
「トルストイ」,「チエーホフ」,
「ゴーリキイ」の各章執筆) | 1978年 5月 | 文化書房博文社 |
| 2. ロシア文学の世界 (草鹿外吉・村井隆之・大木昭男と共著)
(全16章のうち、「シチェドリン」,
「トルストイ」,「チエーホフ」,
「ゴーリキイ」の各章執筆) (改訂版) | 1982年 3月 | 文化書房博文社 |
| 3. ゴーリキイの人間観 | 1982年 3月 | 北海道日ソ友好文化会館 |
| 4. ロシアの文豪たち — その作品と時代 (外川継男・灰谷慶三と共著)
(全3篇のうち, 第1篇「ゴーリキイの長編小説『母』について」を執筆) | 1984年 2月 | 北海道日ソ友好文化会館 |
| 5. 激動のソ連社会と現代ソ連文学 (佐々木照央・望月哲男と共著)
(全3篇のうち, 第2篇「変わりゆく現代ソ連演劇」を執筆) | 1991年 3月 | 北海道日ソ友好文化会館 |

〔II〕 編訳書

- | | | |
|-----------------|----------|-----|
| 1. ゴーリキイ文芸書簡 I | 1973年 2月 | 光和堂 |
| 2. ゴーリキイ文芸書簡 II | 1973年12月 | 光和堂 |

〔III〕 論文

- | | | |
|--------------------------------------|------------|---------------------|
| 1. 『静かなるドン』研究 — グリゴリー・メレホフの形象をめぐって — | 1954年 1月提出 | 学士論文, 早稲田大学第2文学部出 |
| 2. ゴーリキイ自伝3部作研究 — 自伝的主人公の形象について — | 1957年 1月提出 | 修士論文, 早稲田大学大学院文学研究科 |

- | | | |
|---|---------------------|------------------------------------|
| 3. ゴーリキイ作, 戯曲「ソーモフとその他の人々」について | 1957年1月 | テアトロ19巻1号 |
| 4. 80年代のロシア文学主潮 | 1958年1月 | 小樽商科大学人文研究第16輯 |
| 5. ゴーリキイに関する覚え書——コロレンコとの交友をめぐって(1)~(4) | 1960年7月
~1966年7月 | 小樽商科大学人文研究第20輯, 第24輯, 第26輯, 第28輯 |
| 6. 叙事詩「人間」について | 1961年7月 | 小樽商科大学人文研究第22・23輯
(創立50周年記念論文集) |
| 7. ゴーリキイの初期創作における語り手について | 1966年7月 | 小樽商科大学人文研究第32輯 |
| 8. ロシア文学における知識人の問題 | 1967年7月 | 小樽商科大学人文研究第34輯 |
| 9. ゴーリキイの家系について | 1969年3月 | 小樽商科大学人文研究第38輯 |
| 10. 90年代批評におけるゴーリキイ | 1969年10月 | 小樽商科大学人文研究第39輯 |
| 11. ゴーリキイの家系について(研究報告) | 1969年10月 | ロシア語ロシア文学研究1 |
| 12. 「ルーシをめぐりて」の世界 | 1970年8月 | 小樽商科大学人文研究第41輯 |
| 13. 「ルーシをめぐりて」における<遍歴者>の形象と課題 | 1971年11月 | 小樽商科大学人文研究第43輯 |
| 14. 劇作家ゴーリキイの出発 | 1974年9月 | 小樽商科大学人文研究第48輯 |
| 15. ゴーリキイの詩作(1)~(5) | 1975年6月
~1979年7月 | えうゐ——ロシアの文学・思想1,
2, 3, 5, 7 |
| 16. 戯曲「小市民」における<葛藤>について | 1975年10月 | 小樽商科大学人文研究第50輯 |
| 17. 戯曲「小市民」におけるドラマトゥルギーの若干の問題 | 1976年3月 | 小樽商科大学人文研究第51輯 |
| 18. 「どん底」についての走りがきの覚書 | 1976年12月 | 小樽商科大学人文研究第52輯 |
| 19. ゴーリキイのチェーホフ観 | 1982年2月 | 小樽商科大学人文研究第64輯 |
| 20. ゴーリキイの人間観について | 1986年6月 | 民主文学247号 |
| 21. ゴーリキイの戯曲「敵」について(I) | 1986年9月 | 小樽商科大学人文研究第72輯 |
| 22. ゴーリキイの戯曲「敵」について(II)——登場人物の形象と台詞の若干の特徴 | 1987年3月 | 小樽商科大学人文研究第73輯 |
| 23. 劇作家ゴーリキイについて(小特集・ゴーリキイの世界) | 1988年11月 | 悲劇喜劇457号 |
| 24. 若き詩人ゴーリキイ——習作時代の詩作探求—— | 1989年3月 | 小樽商科大学人文研究第77輯 |

〔IV〕 分担執筆

- | | | |
|---------------------------------------|---------|-----|
| 1. 世界文学鑑賞辞典Ⅳ ロシア・ソヴェト編(ゴーリキイの作品項目を執筆) | 1962年9月 | 東京堂 |
|---------------------------------------|---------|-----|

- | | | |
|---|---------|---------|
| 2. 万有百科大事典1・文学（「ゴースキー」の項執筆） | 1973年8月 | 小学館 |
| 3. 作品論・有島武郎（『『かんかん虫』について——有島とゴースキー』の章執筆） | 1981年6月 | 双文社出版 |
| 4. 近代ロシアの歴史と文学（「ゴースキー」の章執筆） | 1986年8月 | 北海道大学 |
| 5. '90——北の文学，今，なぜロシア文学なのか（「人間愛の作家・ゴースキー」および「小樽高商のロシア人教師——ネフスキーとスミルニツキー」の各章執筆） | 1991年3月 | 北海タイムス社 |

〔V〕 評論・書評

- | | | |
|-----------------------------------|----------|---------------------------|
| 1. ゴースキーの戯曲「敵」 | 1956年5月 | 自由舞台通信19 |
| 2. ささやかな創造の中から〔特集・作家の当面する創作方法の問題〕 | 1956年7月 | 新日本文学11巻7号 |
| 3. 「私の大学」（ゴースキー） | 1971年5月 | 青年運動95号 |
| 4. ロシア文学と多喜二 | 1973年2月 | 民主文学87号（小林多喜二没後40周年記念特集号） |
| 5. グルーズジェフ著「ゴースキー」（書評） | 1973年2月 | 文化評論139号 |
| 6. 婚約時代のゴースキー | 1973年7月 | 歴史座公演報 |
| 7. メシテルハージ著「国境から数歩のところまで」（書評） | 1974年5月 | 青年運動131号 |
| 8. ビャーリク著「ゴースキーの運命」（書評） | 1975年7月 | 文化評論169号 |
| 9. 「道標」を読んだころ | 1980年11月 | 新日本文学社刊 宮本百合子全集月報8 |
| 10. ゴースキーと「どん底」——慰めの嘘をめぐって | 1984年2月 | 京浜協同劇団第42回公演報 |
| 11. チェーホフ「桜の園」（文学にみる青春像） | 1985年2月 | 青年運動266号 |
| 12. 法橋和彦編著「プーシキン再読」（書評） | 1988年2月 | 民主文学270号 |
| 13. ヒトラーは本当に死んだのか | 1989年9月 | 東京芸術座公演報66 |
| 14. 「転形期の人々」題名考によせて | 1991年3月 | 市立小樽文学館報第4号 |
| 15. 「大文字ではじまる人間」と小市民性と…… | 1992年11月 | 俳優座第217回公演報 |
- ほかに、新聞、雑誌等に発表したもの 45点

23. ミハーリスキイ 火縄銃のパラード
ド [抄訳] (中編小説) 1980年3月 ソヴェート文学71
24. ステパーノフ 三日月状の地球 (中編小説) 1980年3月 今日のス連邦 No.5~11, 13~14,
~7月 (9回連載)
25. セミヨーノフ レクイエム (短編小説) 1982年9月 ソヴェート文学82
26. アリゲール ナイチンゲールの歌 (短編小説) 1985年12月 ソヴェート文学94
27. ガリーエフ, トロピーニン 共作
ヘルツォーク氏は三度死ぬ 1989年9月 東京芸術座30周年記念 (第66回)
(2幕諷刺劇) 公演
- ほかに雑誌発表および劇団上演台本・上演予定台本等 40点